【総合計画前期実施計画見直しの必要性】

■第1節 共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の見直し

めざすべきまちの姿	人と人との支え合いが、人と暮らしを元気に豊かにし、安心・安全なふれあい社会をつくりだします。ふれあいの基本は、人への優しい心と思ひやりです。 わたしたちは、共に生き、心豊かに暮らせるふれあいのまちの実現をめざします。 逗子に生まれ、育ち、暮らしていく人生のステージにおいて、すべての人が優しさと思ひやりの心を育み、次の世代へとつないでいきます。
-----------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【福祉プラン懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■1「その人らしく生きること」をお互いに支え合う福祉のまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	すべての人々が、住み慣れた地域で安心して住み続けるためには、地域での温かいふれあいの中で、多様な人材がつながり、互いに見守り支え合う顔の見えるまちとなることが求められます。また、地域の様々な課題を解決するためには、公・共・私役割を分担し、互いに連携し、協力し合うことが大切であり、大きな力となります。 地域におけるあらゆる主体のサービスや諸活動のネットワーク化、総合化を進め、公・共・私のパートナーシップの構築により、「その人らしく生きること」をお互いに支え合う福祉のまちの実現をめざします。
---------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【地域福祉計画・地域福祉活動計画懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 2 医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	<p>歳を重ねても健康でいたいという思いはみんなの願いです。人生のうちで健康でいる期間が長ければ長いほど質の高い生活が送れます。そのため、市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、自身の健康状態を的確に把握するとともに、家族みんなや仲間と楽しみながら健康づくりを続けることが重要です。</p> <p>市民誰もが生涯を通じて活動的に生活できるように、市民が主体の健康づくり活動や地域で進める健康づくりを推進していきます。</p> <p>また、健やかで安心して暮らしていくために、医療・保健・福祉の各分野の関係機関・団体との連携を強化し、誰もが身近なところで適切な医療を受けられるような地域医療体制が充実したまちをめざします。</p>
---------------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【健康増進計画推進懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 3 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	<p>高齢化の急速な進展や、地域社会・家族関係が大きく変容していく中において、高齢者が住み慣れた地域で、安心して住み続けることができ、人生を豊かに過ごすことができるような地域社会の構築を進めていかなければなりません。</p> <p>年齢を重ねてもできる限り要支援・要介護状態とならないための予防の取り組みや、介護サービスの基盤整備を進めていくとともに、多様な生活ニーズや地域課題の把握に努め、介護、医療、行政、地域などが連携したネットワークを構築し、いつまでも心豊かに、自分らしく暮らしていけるような環境づくりを進めていきます。</p>
---------------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【高齢者保健福祉計画懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 4 障がい者が安心して自分らしく暮らし続けられるまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	<p>これまでわたしたちが築いてきたノーマライゼーションとリハビリテーションの理念を継承し、障がいのある人もない人も、誰もが分け隔てられることなく、「地域で自分らしく生きるため」「安心して納得できる生き方を求めて」、それを実現していくことができるまちづくりを進めます。</p> <p>障がいのある人を取り巻く環境は、複雑化、多様化しています。誰もが生まれてからずっと安心して暮らし続けられるよう、ライフステージに応じた一貫した支援体制を充実するとともに、災害等緊急時の備え、バリアのない環境づくりを進める必要があります。</p> <p>また、道路や施設等の整備だけでなく、こころのバリアフリーも実現し、障がいのある人ない人、団体、地域などあらゆる主体が支え合えるようなまちづくりを進めます。</p>
---------------------------------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【障がい者福祉計画策定等検討会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 5 誰もが心豊かに子育てできるまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	<p>急速な少子化の進行や、家庭や地域を取り巻く環境の変化、地域とのつながりの希薄化の中で、心豊かに子育てをするためには、子育てに対する不安や孤立感を減らし、子育ての喜びを実感できることが必要です。子育てを親が主体的に行えるよう、まち全体で子育てを応援し、住みなれた地域で安心して子どもを産み育てることのできる総合的な支援体制の充実をめざします。</p> <p>さらに、家庭環境や雇用形態の多様化などを踏まえ、家庭と地域や学校等が相互に協力し、まちを生かした豊かな遊びと学びの環境を整え、すべての子どもが愛され信頼されることを通じて、次世代を担う子どもたちが、心身共にたくましく生きる力と豊かな人間関係を培うことができるよう、地域と共に育むまちづくりをめざします。</p>
---------------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【子ども・子育て会議】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■第2節 共に学び、共に育つ「共育(きょういく)」のまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の見直し

めざすべきまちの姿	世代間交流を通じて、共に学び合い、共に育つ「共育」理念のもと、市民の誰もが、人生のどの場面でも、いきいきと学び、文化を育み、スポーツに親しみ、その成果を様々な形で生かすことのできる、市民が主役を演じる「共育のまち返り」をめざします。
-----------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【共育のまち推進懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■1 子どもも大人も輝く生涯学習のまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	市民の誰もが、人生のどの場面でも、いきいきと学びを楽しむことができるよう、一人ひとりの力と行動で、教え合い学び合いを形にしていきます。 そして、学ぶ楽しみ教える喜びで地域の一人ひとりがいきいきと輝いているまち、互いの生き方を尊重し育み合えるまち、学習活動の域を越えて学んだ成果を様々な形で生かすことで元気な地域づくりへとつながっていくまち、生涯学習活動のまち返りをめざします。
---------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【生涯学習推進懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 2 文化を新たに創造するまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	文化芸術は、生活に潤いや刺激を与え、共感や連帯を生み、人の心を豊かにします。さらに、新たな付加価値を生み出すなど、地域社会にとっても多様な可能性を秘めています。 わたしたちは、逗子の伝統文化を継承するとともに、潜在的な文化資源を掘り起こして、地域の文化を市民の手で拓き、互いを高め合い、育むことで、「まちが文化を活かし、文化がまちを活かす」地盤をつくります。そして、逗子の多彩な文化資源と恵まれた自然環境を背景に生まれる、個性的で創造的な文化芸術の力で、文化と自然がつむぐ活力あるまち(地域社会)の発展をめざします。
---------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【文化振興基本計画策定・推進会議】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 3 スポーツを楽しむまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	わたしたちは、スポーツ都市宣言の理念に基づき、市民一人ひとりがスポーツに親しみ健康な心とからだをつくる「健康づくり」、みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり明るい生活を営むことができる「場づくり」、スポーツを通じていきいきとした地域連携の輪をひろげる「交流づくり」、スポーツを通じて活力に満ちたまちづくりを推進する「基盤づくり」を進めます。 一人でも多くの市民が、スポーツに親しみ、互いに高め合うことで、健康で豊かな生活を送ることができるよう、いつでも、どこでも、誰もが気軽にスポーツ、健康づくりができるまちをめざします。
---------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【スポーツを楽しむまち逗子推進懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 4 学校教育の充実したまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	人は自然と社会の中で生涯学び続けていく必要があります。その入り口の一つとして学校教育は大きな役割を果たすものです。今日、価値観の多様化や高度な情報化社会の中であって、子どもたちが身につけなければならない力は多岐にわたっています。これまで受け継がれてきた知識や文化・伝統などを踏まえ、地域社会や家庭と連携し人間性溢れる教育、限りある命を生きていることの素晴らしさを感じることができる教育を行っていくこと、そしてこれからの国際社会の一員として生きていく力を養う必要があります。 いつの時代にも変わってはならない本質の部分を土台に、その時々を教育的課題に臨機応変に対応して、「豊かな人間性」・「確かな学力」・「健康な心身」を目標として『自ら考え、心豊かに、たくましく生きる逗子の子ども』の育成を図ります。
---------------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【学校教育総合プラン懇話会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 5 子どもも大人も共につながり成長していくまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	わたしたちは、将来像の中で「人間を大切にすまちでありたい」とうたっています。この理念の実現のためには、市民一人ひとりが地域に愛着を持ち、まちづくりに積極的に関わる「ひとづくり」がその第一歩となります。 社会教育の充実をめざして、過去から附託された人類共通の財産である文化財を適切に保存し、未来に引き継いでいくとともに、現代的課題や地域課題について、共に学び、個を高め合う機会を広く市民に提供し、学校、地域、家庭のつながりを強化していくことで、地域社会、さらには世界に貢献できる「ひとづくり」に市民と共に取り組んでいきます。 わたしたちは、子どもも大人も共につながり成長していくまちの実現をめざします。
---------------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【社会教育委員会議】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■第3節 自然と人間を共に大切にすまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の見直し

めざすべきまちの姿	<p>逗子を取り巻く自然は、海や、市街地の三方を囲む丘陵のみどりなどが良好な状態で残されています。この豊かな自然は、市民の暮らしに潤いを与えてくれます。</p> <p>わたしたちは、これからも、常に自然を守り、育み、地球に優しい持続可能な潤いのあるまちをつくり、自然と人間を共に大切にすまちの実現をめざして、この恵み豊かな環境を、次の世代へとつないでいきます。</p>
-----------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【環境審議会】
見直す必要なし	見直す必要なし	<p>審議会委員のうち、1名より次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、猛暑、豪雨など自然の猛威が激しくなり、大地震の近接が叫ばれ、生命、健康等に重大な影響を及ぼす状況である。 ・外来生物増加の生態系に及ぼす脅威や、昆虫や鳥による病原菌拡散などの危険に鑑みると、自然を大切になどの標語で済ませられる事態ではない。 ・環境汚染も激しくなる傾向にあり、市民の生命や健康を守るべく、環境関係事業を抜本的に見直す時期である。
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
<p>環境審議会委員全10名に意見聴取し、うち、1名の委員から近年の環境の変化に伴う環境関係事業に関する意見があった。他の委員からは、特に見直しをすべきとの意見はなかった。今回いただいた意見は情勢の変化としては捉えておらず、担当課として見直す必要はないものとする。</p>		

■1 自然を大切にすまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	<p>首都圏に残された貴重な財産である自然を保全し、次世代に引き継ぐことは、健康で快適な生活環境を確保していくうえで重要・不可欠であり、わたしたちの責務です。</p> <p>また、市街地においても、逗子の地域特性を最大限に発揮できるよう、潤いや安らぎのある環境を創造するとともに、緑地の保全や住宅地の緑化を進めていきます。</p> <p>わたしたちは、逗子の山、川、海、そしてまちなかの名所を回廊としてつなぎ、市民が様々な生き物等と接する中で、学び、安らぎ、遊び、憩うことができる環境づくりを進め、自然と人の共生するまちづくりを進めていきます。</p>
---------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【みどり審議会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 2 廃棄物による環境負荷の少ないまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	<p>ごみの排出は環境に大きな負荷をかけます。良好な環境を保全し、次世代につないでいくためには、できる限り「燃やさない、埋め立てない」という持続可能な循環型社会をめざす必要があります。</p> <p>わたしたちは、自主的にごみの発生・排出抑制に取り組むとともに、廃棄物を貴重な資源として一層有効活用し、環境保全と安全・安心に配慮したごみ処理の推進に努めます。</p> <p>わたしたちは、廃棄物による環境への負荷をできる限り低減し、「ゼロ・ウェイスト社会」の実現をめざします。</p>
---------------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【廃棄物減量等推進審議会】
見直す必要なし	見直す必要なし	<ul style="list-style-type: none"> ・国の方針にも合致する方向性であり、見直しは不要と思料。 ・葉山町・鎌倉市との広域化の検討が始まる場所であるので、一般廃棄物処理基本計画の基本方針の見直しの方向性を議論すべきと思います。
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
<p>逗子市一般廃棄物処理基本計画の基本方針については、次期計画(平成32年度)作成段階で議論を行う予定です。総合計画基本構想の「取り組みの方向」については、2市1町においてゼロ・ウェイスト社会の実現をめざし広域化を検討していくことから、方向性に変わりはなく、見直す必要はないと考えます。</p>		

■ 3 温室効果ガス排出の少ないまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	<p>地球温暖化の問題は、地球規模で取り組む課題です。</p> <p>その原因の一つである二酸化炭素を主なものとする温室効果ガスは、日常生活においても発生しています。低炭素社会を実現するため、わたしたち一人ひとりのライフスタイルを見直し、身近なことから温室効果ガス排出量の削減を実践していきます。</p> <p>また、温室効果ガスの発生量の多い化石燃料から、地球環境への負荷が少ない再生可能エネルギーへの転換に努めます。</p> <p>わたしたちは、持続可能な社会を実現するため、温室効果ガス排出の少ないまちづくりを進めます。</p>
---------------------------------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【環境審議会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 4 暮らしと景観に配慮したまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 組 み の 方 向	きれいな水と空気に恵まれた良好な生活環境を維持し、より一層人に優しい都市環境を整備することは重要な課題です。 また、みどり豊かな低層の家並みと路地がめぐる美しいまち並みは、市民共有の財産です。 良好なまち並みと、そこに住む人々の暮らしで形成される「景観」をまちづくりの重要な要素として位置付け、自然景観及び人工景観の向上をめざしていきます。 わたしたちは、良好な生活空間、景観を次世代に引き継いでいくため、暮らしと景観に配慮したまちづくりを進めていきます。
----------------------------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える 区分	審議会等が妥当 と考える区分	審議会等の意見 【景観審議会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■第4節 安全で安心な、快適な暮らしを支えるまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の見直し

まちづくりの姿	<p>わたしたちは、逗子が持つ豊かな自然環境やコミュニティの質の高いまちを未来に継承していきます。</p> <p>そのため、土地利用の基本方針を尊重し、社会ニーズを的確にとらえ、長期的な視点に立った都市のデザインを描いて、計画的なまちづくりを進め、誰もが安全で安心して快適に暮らせるまちをめざします。</p>
---------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 1 良好な住環境の形成により、くつろぎが生まれるまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	<p>土地利用の基本方針にうたわれた理念の実現を図るため、逗子が潜在的に持つ優れた価値と原風景を再認識し、大局的長期的視点に立ち、住む人にも訪れる人にも優しく、にぎわいとくつろぎ、そして安らぎが生まれる人間らしいスケールのまちをめざします。</p> <p>基本的に低層のまち並みの形成を基盤とする中で、地域ごとの整備方針に基づき、地域のまちづくりを進めます。</p>
---------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 2 災害に強く、犯罪のない安全なまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 組 み の 方 向	<p>高齢化が進む住宅都市として、「自らの命は自ら守る。皆のまちは皆で守る。」という意識の浸透、自主防災組織の充実及び避難行動要支援者に対する地域での助け合いの取り組み等を広げ、市民自らの防災力の向上を図ります。さらに、情報伝達体制の整備や津波対策の充実、河川の改修等を進め、地震や大雨等の自然災害に強いまちづくり、狭あい道路の整備や消防力の充実など都市災害を防ぐまちづくりを進めます。</p> <p>また、市民一人ひとりの防犯意識の向上を図り、地域の安全は地域で守るという意識を高め、防犯環境に配慮した環境整備を図り、誰もが安心して暮らすことができる、犯罪の起きにくいまちづくりをめざします。</p>
----------------------------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会・安全安心に関する懇話会】
見直す必要なし	(進行管理部会)見直す必要あり (安全安心に関する懇話会)見直す必要なし	(進行管理部会)これまでの災害は、地震、風水害が中心と考えられていたが、高温も災害の一つとして捉え、取り組みの方向を見直す必要がある。 (安全安心に関する懇話会)意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
<p>(防災安全課)第4節-2「災害に強く、犯罪のない安全なまち」で示された災害は、逗子市地域防災計画で対策を進める「災害」と整合を持たせたものであり、災害対策基本法で定義された「暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象」を示している。これらの災害は、突発的に国土及び国民の生命、身体又は財産に被害が生ずるような場合を想定しており、また、規模の大小を問わないものではなく、社会通念により、相当の被害を生ずる程度の現象を示すものである。つまり、非日常に備えるものが災害対策である。一方、今夏を含め、近年、夏季の猛暑により健康被害が多発している状況は、ご指摘のとおりである。この状況が今後も続く可能性があるとするれば、夏季の猛暑を突発的なことと捉えるのではなく、日常の状態であると捉え直し対応していくことが求められるものと理解する。</p> <p>以上により、夏季の猛暑による健康被害を、第4節-2「災害に強く、犯罪のない安全なまち」で示された災害の一つとして捉えることは難しく、「取組の方向の見直し」は必要ないと考える。</p> <p>(関連課:国保健康課)高温対策として、主に熱中症対策に取り組んでおり、第1節の「2医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち」の中において、引き続き取り組んでまいります。</p>		

■ 3 歩行者と自転車を優先するまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 組 み の 方 向	<p>自動車交通がもたらす交通事故や交通公害、混雑などを解決するためには、環境負荷の低減を図り、自動車の過度な利用を抑制し、公共交通機関や歩行者、自転車の安全性や利便性、快適性を高めることが必要です。</p> <p>わたしたちは、歩行者も自転車も優先することができる社会をめざすことにより、豊かで快適、安全な、生活の質(クオリティ・オブ・ライフ)の高いまちづくりを実現します。</p>
----------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【「歩行者と自転車を優先するまち」ワークショップ】
見直す必要なし	見直す必要なし	取り組みの方向については、見直しの必要なし。具体の成果を出せるよう、着実に取り組みを進められたい。
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 4 都市機能の整った快適なまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	市民の安全で快適な都市生活を維持し、拡充を図るため、高齢化の急速な進展や多様化する社会ニーズに対応し、長期的な視点に立った都市機能の整備が必要です。 本市の財政状況や限られた土地の利活用の視点、高齢化等への配慮から施設の複合化や多機能化、バリアフリー化を図り、また、地震をはじめとした自然災害等を考慮した都市機能の再編・再整備を計画的に進めます。
---------------------------------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 5 地域資源を生かした個性豊かなにぎわいのあるまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 り 組 み の 方 向	市街地を囲むみどり豊かな山や青い海の逗子海岸や小坪漁港、これらの逗子の魅力を国内外に向けて発信し続け、人が集い、ふれあいの輪が広がり、地域のにぎわいが生まれるまちをつくります。 自然、文化、人という逗子の恵まれた地域資源を、磨き、つなぎ、生かすことにより、地域産業の活性化や個性豊かな産業の創出を図るとともに、住む人、働く人、訪れる人が一体となって、成熟した魅力あふれるまちをつくります。
---------------------------------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■第5節 新しい地域の姿を示す市民主権のまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「めざすべきまちの姿」の見直し

めざすべきまちの姿	<p>市民は、市政の主権者であり、まちづくりに参加する権利を有します。</p> <p>わたしたちは、主権者である市民として、互いに尊重し合いながら、その人のもつ個性や能力を十分に発揮できる地域社会をつくっていきます。また、グローバル化した社会の中で、地域や国を越えて、世界に貢献していきます。</p> <p>わたしたちは、地域社会、さらには世界の一員として主体的に行動する市民主権のまちをつくりまします。</p>
-----------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 1 市民自治のまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	<p>逗子のまちづくりを担っているのは、市民一人ひとりです。市民が、自分のことだけでなく、他人や地域、自然のことを自分のことのように考え、行動することができる市民の姿が望まれます。</p> <p>また、逗子に住み、働き、学び、交わるあらゆる主体が、地域の一員として、考え、行動し、それぞれの関係の中で互いの理解を深め、担い合い支え合うことにより、心豊かな市民自治のまちを実現します。</p>
---------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 2 誰もが尊重され、自由で平等なまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	その人の持つ「個性や固有の人格そのもの」や「能力」が尊重され、それらが十分に発揮できるまちづくりを推進し、誰もが、性別、国籍、障がい等によって差別されることなく人権が尊重され、自由で平等な参画が保障されているまちをめざします。
---------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【ずし男女共同参画プラン推進会議】
見直す必要なし	見直す必要なし	意見なし
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(見解不要)		

■ 3 情報化で、よりよく暮らせるまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取り組みの方向	ICT(情報通信技術)を積極的に活用することにより、暮らしに関わるあらゆる分野において、より便利で質の高い暮らしができるまちをめざします。 また、情報化の推進により、あらゆる主体が、自らの活動を発信し、コミュニケーションを豊かにすることで、よりよくながかり、いきいきと暮らせるまちをめざします。
---------	--

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要あり	ICT技術の進化は著しく進んでおり、それに伴いサイバーテロ等の攻撃に備える必要性が、これまで以上に高まっている。ICTの活用にとどまらず、その危険性や負の側面についても理解促進が進むよう、取り組みの方向を見直す必要がある。
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
「情報化の推進」と「情報セキュリティの強化」は表裏一体のものである。「情報セキュリティの強化」は「情報化の推進」の前提となるものであると認識しており、「情報セキュリティ」を無視した「情報化の推進」を推進することは考えられない。また、情報セキュリティの確保にあたっては、「現況・課題、取り組み」に記載しているとおり、その都度最新の情報セキュリティ対策を検討、検証したうえで実施していくこととした計画内容としているため、見直しの必要性はないと考える。		

■ 4 世界とつながり、平和に貢献するまち

◇理念(最上位の目標)＝総合計画基本構想の「取り組みの方向」の見直し

取 組 み の 方 向	ICT(情報通信技術)の進化や移動時間の短縮化など、科学技術のめざましい発展を背景に、世界との距離は加速度的に近くなっています。 市民の誰もが国際性を身につけ、池子米軍家族と培ってきた日米親善交流を礎に、さらに多くの世界の人々や都市との交流、協力を進め、逗子から世界に向けて、世界の恒久平和や調和ある発展についてメッセージを発し、貢献するまちをめざします。
----------------------------	---

◇見直しの必要性

担当課の考える区分	審議会等が妥当と考える区分	審議会等の意見 【総合計画審議会進行管理部会】
見直す必要なし	見直す必要あり	2017年3月の学習指導要領の改訂により、小学校における英語が教科となったこと、また、国による観光立国推進に向けたインバウンド拡大の取り組みにより、グローバル化が急速に進んでいる。これらの環境変化を踏まえ、逗子から世界で活躍する人材の育成を進めるべきである。
審議会等の意見に対する担当課の見解		総合計画審議会の意見
(市民協働課)国際的な人材育成は第2節4及び5で主に所掌するものとする。市民を取り巻く環境に大きな変化が起きているとは考えていない。 (関連課:学校教育課)第2節4取り組みの方向に記載しているとおり、これからの国際社会の一員として生きていく力を養うことは必要であり、引き続き学習指導要領に則り、取り組みを進めていく。 (関連課:社会教育課)第2節5取り組みの方向に記載しているとおり、世界に貢献できる「ひとづくり」について、引き続き取り組んでいく。		

■ 池子の森全面返還をめざして

池子住宅地区への米軍家族の入居に係る諸課題への対応を図りながら、市民と米軍家族との良好な関係づくりを進めます。また、国、米軍との交渉を進め、共同使用地(池子の森自然公園)の部分返還、さらに、最終的には「池子住宅地区及び海軍補助施設」の全面返還をめざします。

◇見直しの必要性

担当課の考える区分

見直す必要なし